



全国小学校キャリア教育研究協議会通信 vol.17
キャリア教育を通じた「つながり」から子どもと社会を結ぶ
発行/編集：全国小学校キャリア教育研究協議会 2019.8.2

【1】ご挨拶 全国小学校キャリア教育研究協議会 会長 林 久徳

京都では、なかなか梅雨入りしないと思っていたら、局地的な大雨があり、冷夏かと思っていたら、気象庁からもお知らせが来るほどの大変な猛暑です。皆様いかがお過ごしでしょうか。わたしは7月の25日、26日の2日間第68回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会に参加させていただき、久しぶりにお会いする方やメールではやり取りしているけれど今回初めてお会いした方など、多くの出会いがあり、研修の中身と共に、多くの方から大いに学び、大いに語り、刺激を受け、交流を深められた大会でした。

昨年度初めて参加させていただいた時は、全国組織が立ち上がって初めての会でわたし自身何もわからず、緊張したり、身の置き場に困ったりしていました。ところが、今回は、京都市の研究会から5名参加させていただき、多くの方から「林先生！久しぶり！」「メールありがとう」というようなお声掛けをいただき、何か懐かしく、仲間と出会えた喜びを感じることができました。まだまだ、中学や高校から比べると、組織力は弱く、よちよち歩きではあるけれど、着実に歩んでいるんだ、これでいいんだという思いが持てた大会でした。

夏休みには、京都で行われる研修会だけでなく、滋賀県の研究会や岡山県の校長会の研修に参加させていただく予定です。キャリアパスポートの話題も熱を帯びてきており、ますます暑くて熱い夏になりそうです。

【2】第68回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会が開催されました

第68回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会
第42回全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議大会
第44回全国高等学校進路指導研究協議大会

上記の大会が令和元年7月25日（木）～26日（金）の2日間、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。

7月25日（木）午前 全体会

開会のことば 全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会会長
世田谷区立緑丘中学校 楠美和文校長先生
式 辞 日本進路指導協会会長 田中壮一郎様
祝 辞 文部科学大臣
(代読) 初等中等教育局児童生徒課長 大浜健志様
功績者表彰受賞者 安達智子様 (大阪教育大学准教授)
今村 勇様 (長崎市立東長崎中学校校長)
近江貞之様 (荒川区立第七中学校校長)

小境幸子様（川口市立県陽高等学校教諭）
小島喜與徳様（神奈川県立弥栄高等学校教諭）
福島敏雄様（愛知商業高等学校校長）
山中高弘様（北見市立常呂中学校校長）
渡部理枝様（前 世田谷区立尾山台小学校校長）

受賞された皆様、おめでとうございます！！

◎ 記念講演「何のための教育改革か～激変する社会を生き抜く力を育てる」
大谷大学文学部教授荒瀬克己氏

この講演者の荒瀬先生は、京都ではなじみが深く、京都市立堀川高校の校長先生をされていた方で、公立高校でありながら、目覚ましい探究的な学びと大学進学で「堀川の奇跡」と称された立役者です。

「高大連携システム改革のめざすもの」改革のポイントは、若者たちに、生涯にわたって主体的に学習する基礎を培うこと。高校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的な改革について、キャリア教育の視点から概観するという内容でした。

わたしの心に強く残っていることは、高大というのは、単に高校と大学を結ぶというのではなく、小中高の初等中等教育の12年間と大学教育をどうつないでいくのかということ。その連続性を大切にすることが主体的な学習者を育てることになるということで、小・中・高・大の連携の必要性を強く感じました。また視座の認識の大切さ、対話の大切さを感じました。

皆さんにとっては当たり前かもしれませんが、わたしにとっては、「あっそうだ！」と思ったことがあります。それは、進路指導ということです。わたしは小学校の教師で、あまり進路指導という言葉になじみがありませんでした。その印象は、文字通り、教師が生徒の進路を指導するのだと思い込んでいました。でもそうではないのですね。一人一人の生徒が社会の使命に気付き自分の将来、進路を決定できるような力を身に付けさせるようにすることこそが進路指導なのです。そんなこともきちんと理解できていなくて お恥ずかしい話です。が、しかしわたしたち教師が、本当にきちんと「進路指導」のできる力を身に付けたいものです。そして、一人一人の子ども、生徒を主語にした教育改革こそ必要だということを強く感じました。

午後の様子、2日目の様子については、また、ぼちぼちお送りします。

【3】第2回全国小学校キャリア教育研究協議会東京大会 申し込み開始！

以前から予告させていただいて、心待ちにしておられた方もいらっしゃるかもしれません。第2回全国小学校キャリア教育研究協議会東京大会の申し込みをいよいよ開始しました。また、様々な出版社等が行っている研究会情報にも情報をアップさせていただきました。今回はご存知のように東京大会です。当然、わたしも参加させていただきますし、京都からも大勢つめかける予定です。

申し込みは海藤美鈴副会長が校長を務めておられる板橋区立中台小学校のホームページからできますし、全国小学校キャリア教育研究協議会のホームページからできます。

東京都、板橋区、弘済会など多くの後援、協賛をいただいておりますので、今回の大会は参加無料の予定です。さすが東京です！昨年度の大会では安くはない参加費をいただき、第3回以降、また、参加費が必要となると思いますが、その時はお許しください。

中台小学校HP <http://www.ita.ed.jp/edu/nakades/>

全国研究会HP <http://www.schoolcareer-ed.jp/>

◎第2回全国小学校キャリア教育研究協議会東京大会
平成30・31年度板橋区教育ビジョン研究奨励校研究大会

全国テーマ： ともにつなげる！子どもと「未来」
「いま」をみつめ、地域とともに「未来」へつなげる子どもの育成
～すべての教育活動を通して育むキャリア教育～

1 期間 令和元年11月15日（金）～11月16日（土）

2 場所

1日目：東京都板橋区立中台小学校（東京都板橋区中台 1-9-7）

2日目：東京都江東区立豊洲西小学校（東京都江東区豊洲 5-1-35）

3 日程

【第1日目】11月15日（金） 13：30～17：00

【会場】東京都板橋区立中台小学校

13：10 受付

(1) 13：30～ 公開授業＜各教室＞板橋区教育ビジョン研究奨励校授業

(2) 14：30～ 全体会＜体育館＞

①基調講演：演題「AIと共存する未来の働き方」

野村総合研究所上級コンサルタント 上田恵陶奈様

②シンポジウム：発表テーマ、シンポジスト

「キャリア教育と国際課題」早稲田大学教授 三村隆男様

「キャリア形成と特別活動」学習院大学教授 長沼 豊様

「小学校へのキャリア教育」全国求人情報協会（公益財団法人）

小学校キャリア教育部会様

「地域でつなぐキャリア教育」長野県伊那市教育委員会

キャリア教育コーディネーター 久保村英未子様

③研究報告：中台小学校の研究について

④教育長挨拶：板橋区教育委員会教育長 中川修一様

(3) 閉会

【第2日目】11月16日(土) 9:00~12:00

【会場】東京都江東区立豊洲西小学校

8:40 受付

①9:00 開会挨拶 全国小学校キャリア教育研究協議会 会長 林 久徳
日本進路指導協会理事 千葉吉裕様
東京都教育委員会

②9:10 「2020年東京オリンピック・パラリンピック開催情報と未来社会」

③9:30 講演：演題「ともにつなげる子どもと未来」
上越教育大学准教授山田智之様
グループ討議

④10:30 中締め、視察出発

⑤10:50 施設見学「キッザニア東京」

⑥12:00 閉会

★ 自由昼食・自由施設見学【豊洲市場】

【4】書籍紹介 実業之日本社より新刊

わたしたちキャリア教育に取り組む者を常に導いてくださり、御講演いただいたり、アドバイスいただいたり、この全国小学校キャリア教育研究協議会の組織立ち上げの時からお力添えいただいているお二人の先生の最新刊が出ましたので紹介させていただきます。

◎「キャリア教育 フォービギナーズ」

「お花畑系キャリア教育」は言われるほど多いか？

藤田晃之 著（フジタテルユキ）

前文部科学省調査官 筑波大学教授

内容紹介 これからキャリア教育に取り組む人に好適の1冊

2020年より本実施される新学習指導要領で重視される、キャリア教育の基本や疑問を初心者にもわかりやすく、事例豊富に語る。筑波大学「キャリア教育学研究室公式サイト」の好評連載「キャリア教育よもやま話」を加筆・編集した、これからキャリア教育に取り組む人に好適の1冊。

【目次】■プロローグ

■第1章 そもそも「キャリア教育」って、何？

■第2章 学びの意味……世界の潮流と大学入試改革が問うものとは？

■第3章 新学習指導要領が導くものとは？

■第4章 実践をどうするか？

■エピローグ 働くって、何だろう？

※昨年度行った第1回全国小学校キャリア教育研究協議会を行うに当たり、会場校である岩倉北小学校にもお越しくくださり、全国大会をお後押ししてくださった先生です。京都でも多くの先生方が「キャリア教育よもやま話」を楽しみに読ませていただいています。

詳しくは以下のホームページをご覧ください。

http://www.j-n.co.jp/books/?goods_code=978-4-408-41675-5

◎「小学校だからこそ！ キャリア教育！世田谷区立尾山台小学校の挑戦」

世田谷区立尾山台小学校 編著

（セタガヤクリツオヤマダイショウガッコウ）

長田徹 監修（オサダトオル）

内容紹介 地域を巻き込み、教育活動全体で行うキャリア教育とは!?

キャリア教育の先進的な取組で、全国から視察が殺到している世田谷区立尾山台小学校の取組を、文部科学省教科調査官の長田徹監修・解説のもと、一挙に紹介！ 指導案や年間指導計画、キャリア・パスポートまで、今すぐ取り入れられる資料も多数掲載！2020年度から全面実施となる新学習指導要領に向けて、キャリア教育をこれから始める先生も、一層の充実を図る先生も必読の一冊！

【目次】 ■はじめに（文部科学省教科調査官 長田徹）

■第1章 なぜ？ キャリア教育だったのか

■第2章 資質・能力 身に付けさせたい力をつくる

■第3章 学びの地図 カリキュラム・マネジメントの実践

■第4章 学びのプロセスを記録し、振り返るキャリア・パスポート

■第5章 今ある宝を大切にする

■第6章 おやまち外へ出る

■第7章 全国の先生方へ

■第8章 全国の校長先生へ

■おわりにかえて（筑波大学人間系教授 藤田晃之）

※長田徹先生は、私が紹介するまでもなく、皆様よく御存じだと思いますが、尾山台小学校の前校長 渡部理枝先生は、わたしと一緒に全国組織設立に向けてご尽力いただいた方で、渡部先生がおられなかったら全国組織も立ち上がり、今このように皆さんとメールを通してつながれていることもなかったと思います。本校も含め、京都でも尾山台小の取組をヒントに、キャリア教育を行っている学校がたくさんあります。全国組織の副会長を務めていただいておりますが、令和元年5月下旬より、世田谷区教育長にご就任されました。

詳しくは以下のホームページをご覧ください。

http://www.j-n.co.jp/books/?goods_code=978-4-408-41676-2

【5】滋賀県小中学校教育研究会キャリア教育部会合同研究発表大会 報告

7月25日、16日の進路指導・キャリア教育大会はすでにその一部をご報告しましたが、7月29日には、滋賀県で標記大会が行われ、京都からも数名参加させていただきました。滋賀県では、県全体での取組や大津市の取組もあり、一体感を持って元気に活動されており、いつも刺激をいただいております。本研究会の事務局長で昨年度の大会会場校の

三浦校長先生がまとめてくれました。

<小学校部会・中学校部会 取組報告>

①和邇小学校の取組（大津市立和邇小学校 蒲原 淳）

学校のキャリア教育目標を「社会の変化に応じて、しなやかなで強靱に生きぬく力を育てる」とし、キャリア教育の研究テーマを「総合的な学習の時間、特別活動、道徳の関連を持たせたキャリア教育の展開～地域とつながり、地域から学ぶ～」と設定し、キャリア教育の実践をすすめている。

6年生では、単元「人の役に立つために」を総合的な学習の時間・特別活動・道徳のクロスカリキュラムとして策定し、取組をすすめた。

また、将来の社会で活躍できる子どもの育成を研究テーマとしてプログラミング教育にも力を入れている。

②渋川小学校の取組（草津市立渋川小学校 中村 大介）

学校の環境教育の研究主題を「渋川を愛し、持続可能な社会の実現に向けて 主体的に行動できる子どもの育成」と設定した。5年生では、「滋賀の郷土料理学習」に取組み、郷土の食文化を継承していこうと考え、行動することを通して、郷土への愛着や誇りを深めることをねらいとして取組み、「滋賀の郷土料理博物館」を開館させた。6年生では、滋賀県が農林水産省の世界農業遺産への登録をめざしていることから、郷土料理学習を発展させて、世界農業遺産学習を展開した。前年度の「滋賀の郷土料理博物館」での展示だけでなく、テレビ会議システムを使って全国各地へ発表を同時配信した。

これらの取組をすすめることにより、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見出していく連なりや積み重ねこそが「キャリア教育」であるとの認識が深まった。

③甲南中学校の取組（甲賀市立土山中学校 甲津 一彦）

学校教育目標を「未来を担う社会人としての基礎を身につけた生徒の育成～生徒の主体的な活動を基盤として～」と設定している。カリキュラム・マネジメントの観点から、生徒の実態を踏まえて、コミュニケーション能力、人間関係調整能力の向上を課題としてとらえ、修学旅行での発信を核とした取組や年間を通したグループワーク「結幸タイム」の取組を実践してきた。

⑤記念講演

京都市教育委員会生涯学習部 統括首席社会教育主事 稲葉 弘和 先生

テーマ「キャリア教育とコミュニティ・スクール」

～地域の力を生かしたキャリア教育を～

京都市ですすめられてきたキャリア教育の源流であり土台でもある「生き方探究教育」について、「社会に開かれた教育課程の実現」を柱に、5つの問いについて参会者とともに考えていく参加型の講演であった。

特に、学校運営協議会の役割と機能についてキャリア教育の視点から述べられ、これが

らの学校教育の中で地域とともにすすめることの重要性について語られた。有意義で持続可能な協働活動を行うには、学校と地域は別のものではなく、学校と地域が同じ目的や目標をもつことが大切であり、その視点で地域の行事や活動に目をむけることで、学校と地域がWINWINの関係になる。これが、社会に開かれた 学校づくりにつながる。

【6】御協力お願い

今回、第2回全国小学校キャリア教育研究協議会東京大会の申し込み開始をお伝えすることができました。ぜひ、全国からたくさん訪れていただき、まずわたしたち大人がキャリア教育を通してつながることにより、それぞれの地域の子どもたちが豊かに学びながら自立して行ってくれることを願っています。その折にまだ、会員登録がお済みでない方は、ぜひ合わせてカイン登録をお願いします。

また、学校や地域で登録いただくこともできますので、是非お知らせください。

各地の研究会情報もご紹介してまいりますので、1つの学校の研究発表会でも、地域ぐるみの取組でも、ぜひお寄せください。このメールの読者やそのお友達が少しでも参加させていただき、つながり盛り上がっていければと思います。このメールや季刊で発行されている「進路指導」の冊子の小学校のページで紹介させていただきます。

会員になっていただいている団体で行われる研究大会や研究発表会を全国小学校キャリア教育研究協議会の地方大会としてタイアップして行っていただくことも可能です。ぜひお声掛けください。また、第3回大会、第4回大会を開催いただける地域や学校があれば幸いです。ぜひ積極的にお考えいただきますようお願いいたします。ご連絡お待ちしております。

会員登録のページ

<http://www.schoolcareer-ed.jp/entrance.html>

【7】編集後記

通信17号では、夏休みに行われた大会の報告を中心にお届けしました。この夏、わたしとしては多くの方々と再びお会いすることができたり、初めてつながらせていただいたり、実り多き夏を送らせていただいています。

本研究会の全国大会や地方の大会で仲間を広げ、共に学び合っていければうれしいです。お友達や近隣の学校の方にもぜひご紹介ください。このメールを転送いただいたり、メール配信希望をお寄せいただいたりしていただければと思います。

お忙しい中、今回もお読みいただきありがとうございました。書きたいこと報告したいことが多く、いつも以上に長くなってしまったことお許してください。

お忙しいとは思いますが、ご感想や各地の様子をお知らせいただけたら、発行者の励みにもなります。各地域の皆様とつながることを願っています。

発行：全国小学校キャリア教育研究協議会

編集：林 久徳（全国小学校キャリア教育研究協議会

京都市小学校生き方探究・キャリア教育研究会会長）

研究会 URL：<https://portal.kyotocity.ed.jp/taxonomy/term/85>

会長校：京都市立静原小学校

住所：〒601-1121 京都市左京区静市静原町1 1 2 5－1

連絡先：[TEL:075-741-2075](tel:075-741-2075) FAX:075-741-2094

事務局：京都市立岩倉北小学校

住所：〒606-0021 京都市左京区岩倉忠在地町5

連絡先：TEL.075-721-5618

事務局長：三浦清孝